

# 秋間小だより

安中市立秋間小学校

NO4 令和4年5月25日

発行責任者：木口 敦子

【学校教育目標】育てよう！未来に続く「生きる力」～家庭・地域と共に～

5月も半ばを過ぎ、今年度の細かい教育計画も整ってきました。私も情報教育主任と一緒に、情報教育の全体計画を作り直しました。

新型コロナウイルスの流行によってGIGAスクール構想が前倒しとなり、昨年度から一気に学校教育のICT化が進んだため、計画作成に当たって改めて文部科学省の資料などを読み直しました。

読んでみて、目が覚める思いがしました。これまで、秋間小学校の学校生活におけるICT活用は比較的進んでいると感じていましたが、「もっともっと使える場面、使わなければならない場面があるではないか！」と思いました。そして、学校は、従来の授業の進め方を本当に大きく変えなければ、子供たちの未来に対する責任を果たせないと感じました。

ICTの活用で、不得意なことが得意なことに変わる可能性が生まれます。例えば、運動能力が十分でない人や身体的な障害をもっている人も、Eスポーツという分野でスポーツを楽しむことができます。歌唱や描画が苦手でも、音楽やアートのアプリを利用することで、自分の感性を理想的な形で表現・発信することができます。実際、本校でもノートに文章で答えるのが苦手だった児童が、タブレット端末のワープロ機能を使うことで、文章表現によって自分の考えを説明できるようになったという報告も受けています。

でも、学校でそういう物を使わなければ、デジタル化が進む世の中において、子供たちは学校以外の場面でその技能を得なければならず、それは、便利とは裏腹に危険な面もある情報化社会の中に、無防備な子供たちを投げ出すこととなります。

文科省は、学習の中での経験の蓄積が、情報の特性や基本的な理論・方法を理解する上で大切であると示しています。子供たちの未来を守るためにも、経験の蓄積は必要であるということです。

だからこそ、アナログの良さも認めたと上で、敢えてデジタル化へと教師は意識改革していく必要があります。私もICTは不得意です。知らないこと、知らない言葉だらけで、使うのが恐いとよく感じます。でも、使ったことがあるものは言葉の意味も分かるし、注意点も分かります。やはり、「経験すること」が大切なのだと思います。

学級閉鎖している6年生のオンライン授業（算数）を昨日参観しました。児童は、去年から集会や授業の中でオンライン会議システムを使ってきたため、とてもスムーズに授業に参加できました。また、一人一人の元気な顔を互いに見ることもできました。これまでの経験の蓄積が、学級閉鎖という急な事態にも苦なく対応できる子供たちを育てていたのです。

YouTubeやTwitter、Instagramを見ると、テレビや新聞からは伝わってこない世の中の様々な考え方、流行など、ものすごい量の情報が毎日更新されています。どの情報を信じ、選択するかのための確な判断もやはり経験の蓄積によるものなのだと思います。

アナログ世代の私ですが、子供たちを育てる立場として率先して意識改革し、秋間小学校で積極的な情報教育を進めていきたいと思っています。



# 行ってきました！6年生修学旅行！

今年の6年生も「2022群馬の魅力発見！～上毛かるたの旅～」と題し、5月19日（木）20日（金）の一泊二日旅行に行ってきました。とにかく天気がよく、行く先々で爽やかな群馬の魅力に出会いました。

- 【1日目】学校→鬼押し出し園→ハッ場ダム（堰堤上見学）→浅間酒造で昼食（ダムカレー）→ハッ場ダムダックツアー（水陸両用バスでハッ場あがつま湖を遊覧）→塩原太助翁記念公園→吹割の滝→水上温泉（源泉湯の宿「松乃井」宿泊）
- 【2日目】水上温泉（源泉湯の宿「松乃井」）→JR 水上駅（上越線下り線乗車）→JR 土合駅（日本一のモグラ駅ホームから改札まで462段の階段を上る）→谷川岳天神平（ロープウェイ）→月夜野びーどろパーク（サンドブラストでマイグラス作り体験と昼食）→県立ぐんま天文台→学校

この二日間で、上毛かるたの「あ、う、か、く、け、た、て、と、ぬ、み、も、や、る」の札を訪ねることができました。札に読まれている場所を実際に訪れたことで、故郷群馬の見所や歴史がより鮮明に像を結んだのではないかと思います。



鬼押し出し園



ハッ場ダム下からの堰堤



ハッ場ダックツアー



塩原太助翁記念公園



吹割の滝



JR 水上駅からの上越線



JR 土合駅のモグラ階段



谷川岳ロープウェイ



ロープウェイ天神平



マイグラス作り



県立ぐんま天文台



残念! 昼間の金星見えず!

